2023年度第2回研修会報告

2023 年 11 月 9日

学術部 梅村 修司

東出　了

2023 年 11 月 5 日 （日）　14 時から 16 時に2023 年度　第 2 回研修会を中部労災病院 2F 講堂にて開催しました。参加者数は 24 名（ 会員 20名，非会員 4名）でした。

研修会は、MRIと放射線治療の内容で開催しました。陽子線治療、全身のDWI撮影、リニアック導入時のコミッショニングサポートの使用経験、放射線治療に役立つMRI撮影と非常に興味深い講演内容となりました。

陽子線治療の演題については、保険適用拡大により膵がんに対する治療件数が以前の12倍に増えており、今後も需要増加が想定されることを知る事ができました。加速器の小型化や呼吸同期など最新の技術についてもわかりやすく学べました。

リニアック導入時のコミッショニングサポートの演題については、IMRT開始に伴い機器更新に必要なビームデータ収集項目が膨大となります。外部委託は１つの選択肢であり、外部委託を依頼した場合でもユーザの集めるビームデータは膨大となり、気の抜けない現状であることが理解できました。業務内容の拡大に対して作業の効率化を進め、可能な限り勤務時間内に済まそうとする姿勢もとても参考になりました。

泌尿器領域における全身MRIの演題については、近年保険適用されて様々な病院が工夫しており、講師の撮像パラメータやデノイズ技術を使用したプロトコル作成の工夫はとても勉強になりました。また、全身のDWI撮影がゴールデンスタンダードである骨シンチに対して優位な点が多々あることも再確認できました。

放射線治療用のMRIについては、放射線治療に対して歪みを減らした画像を得ること、同じ体位で撮像すること、パラメータ設定を工夫して撮像することがとても重要であることが理解できました。放射線治療技師の精度へのこだわりと、MRI担当技師の撮像に関する知識の奥深さに対する相互理解をするべきであるという講師の言葉は非常に参考になりました。